

第15回

シニア女性映画祭

大阪2026

世紀を超えて

11/21±
22日



会場

とよなか男女共同参画
推進センターすてっぷ

すてっぷホール (定員148名)

阪急宝塚線「豊中」下車すぐ
エトレ豊中5F



主催: 「波をつくる女たち」シスターウェーブス

HP: <http://sister-waves.fem.jp>

Blog: <http://sisterwaves.exblog.jp>



協力: 連連影展FAV

フリークの女たち

協賛: とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

(指定管理者 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)

特別協力: ゲーテ・インスティテュート東京

チケット

各プログラム (入替制)

前売	1,000円	当日	1,200円
1日券	1,600円	2日券	3,000円

無料

80歳以上、車椅子利用者と介助者
原発避難者、母子世帯、高校生以下

前売り予約

QRコードから もしくは
お電話 090-2700-4557

(11月19日まで)



保育あり: 先着10人

対象: 1歳~小学3年生 要申し込み (締切 11/14)

1 3200円 (税込み) 2 4300円 (税込み)

11月21日 (土)

1 10:30-12:10 (開場10:00)

「女書 一中国の隠された女文字」

2000年/中国・カナダ/58分/日英字幕

女文字の最後の伝承者

何艶新(ホー・イエンシン)さん追悼

清時代(1636-1912)の中国に「女書(ヌーシュ)」という女だけに使われた文字があった。女たちの苦しみや哀しみを伝え合う手段で、女たちをささえた。2012年第1回シニア女性映画祭で上映。



🎤 ゲストトーク：細見三英子さん

(ジャーナリスト、『中国「女書」探訪』著者)

🎬 監督：ユーチン・ヤン

中国生まれ。文化大革命後カナダにわたり大学院で生物学を学ぶ。本格的に映画製作に入るきっかけは「纏足 - 黄金の蓮の花」を作ったこと。

2 14:00-16:30 (開場13:30)

「十の井戸 (Ten Wells)」 日本初上映!

2023年/韓国/82分/日本語字幕

監督来日!

1980年代を中心に韓国・仁川の貧困地域で展開された女性労働者たちによる共同保育や寺子屋活動。そこに関わった女性たちを訪ね、インタビューや写真などを交え、その運動・生活史を描いたアーカイブ・ドキュメンタリー。



🎤 ゲストトーク：キム・ミレ監督 ※通訳あり

🎬 ドキュメンタリー監督。非正規女性の争議を取り上げた『外泊』(2009)、東アジア反日武装戦線を主題にした『狼をさがして』(2020)など多数。

ウーマン・リブの貴重映像
特別上映!

「ミュージカル『女の解放』1975」

制作：ドテカボー座のビデオを見たい会

11月21日・22日 12:30-13:50

場所：セミナー室2

参加費：無料 (チケットのない方は有料)

21日は、当時のリブ新宿センターのメンバーによる解説もあり

交流会

11月21日 (土)

17:00-19:30

「キム・ミレ監督を囲んで」

※通訳 オ・ミンスクさん

場所：視聴覚室

参加費：1,500 円 (先着30名)

要予約：表面のQRコードから

または電話 090-2700-4557

11月22日 (日)

3 10:30-12:20 (開場10:00)

「グリーンナムの女たち」

1983年/イギリス/69分/日英字幕

配給：Concord Media

近藤和子さん追悼

(映画を日本に紹介)

1981年、米軍基地への核ミサイル配備に抗議し、基地周辺で女の平和キャンプを開始。妨害や逮捕に屈せず非暴力を貫き、世界の反核運動に大きな影響を与えた。



🎤 ゲストトーク：末田 一秀さん

(はんげんぱつ新聞編集長)

🎬 監督：ビーバン・キドロン & アマンダ・リチャードソン
映画学校の学生だった二人は、女性の平和キャンプへ駆けつけ7ヶ月間滞在・撮影。キドロン監督は現在も映画監督や子どもの人権活動家としても活躍中。

4 14:00-16:30 (開場13:30)

「不屈の女たちー旧東ドイツ編」

2024年/ドイツ/104分/日本語字幕

映像提供：ゲーテ・インスティトゥート東京



旧東ドイツに生きた12人の女性たちを追うドキュメンタリー。解放と平等を掲げた国家の理念と現実の隔たりを告発し、個人として自己実現を求め闘った姿を描く。



🎤 ゲストトーク：山根 恵子さん

(日独両語で著作・翻訳・字幕制作)

🎬 監督：トルステン・ケルナー

1965年生まれ。ドキュメンタリー監督。ジャーナリスト、作家、TV 批評家等としても活躍。前作「フェモクラシー不屈の女たち」は2023年当映画祭でも上映。